



336-A地区 5R-1Z
丸亀ライオンズクラブ会報誌

2013
1.2
No.948

LIONS

2013 MARUGAME LIONS CLUB

熱。もつと身近にウイ・サーブ
徹底・継続・笑顔





夢とロマン・出会いの達人 龍馬の心で

We Serve



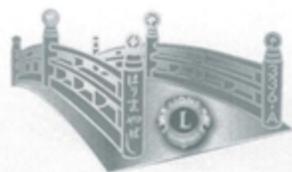
ライオンズクラブ国際協会 336-A地区
第59回 地区年次大会のご案内

第59回 ライオンズクラブ国際協会336-A地区

地区年次大会

【とき】2013年4月13日(土)・14日(日)

【ところ】高知県立県民文化ホール・三翠園



大会参加ご案内

皆様方におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、第59回地区年次大会（高知市）もいよいよ登録の時期を迎えることになりました。

大会スローガン「夢とロマン・出会いの達人龍馬の心でWe Serve」のもとホストクラブ全員が「感動」を体感できるそんな大会の実現を願い準備を進めています。

土佐のお客を「誠心誠意のおもてなしの心」で皆様方をお待ち申し上げます。来る4月13日(土)・14日(日)の2日間クラブ内でお誘い合わせの上たくさんご参加くださいますようお願い申し上げます。

ガバナーズスローガン
「心ひとつ」相手の立場で We Serve
大会スローガン
「誠心誠意のおもてなし」
夢とロマン・出会いの達人 龍馬の心で We Serve



会員一同 新年祈願



年男役員の鏡割り!

新年例会のカラオケ大会

Ⓛ 嶋田 幸信

新年例会に出席したところ、受付席順はくじで決めるということで、くじを引こうとした。今日はカラオケ大会で審査委員長になってくれと計画委員長から言われました。私はびっくりして「エ……！」と答え、私ごときが審査をするなんてとんでもないこととお断りしました。でも決まっていることだからやってほしいと言われ、やむなく審査委員長をすることにしました。着席するテーブルは執行部席とのことであった。

カラオケの審査などしたことがなく、どうしたら良いか分からない状態であったが、歌は聞くことも大切だと思い、まず、歌手の歌を聞くことに専念することにしました。

各テーブルから1名が歌う。賞は最優秀賞1名、優秀賞2名、努力賞3名を選定してくれとの計画委員長からの要請であった。計画委員長よりも私に歌ってほしいとのことでした。私も歌は大変好きなので歌うことにしました。何時もカラオケ大会で北島三郎の「竹」を歌っていました。今宵は違う歌を歌おうと考えて、五木ひろしの「長良川艶歌」を歌うことにしました。男と女がいる限り恋があり恋が生まれる。恋の物語の歌である。一生懸命歌えば良いと思い、心を込めて歌いました。歌は3分間のドラマとか言いますので恋心を一生懸命に歌いました。

いよいよカラオケ大会となり2番テーブルから順次始まりました。審査をせよとのことでしたのでメモをとることにしました。

- 1、トップバッターは2番テーブルのⓁ古竹でした。「居酒屋」を歌ってくれました。ホステスの女性と一緒に息が合っており一般大衆酒場の雰囲気を感じました。全身で歌っていました。
- 2、3番テーブルのⓁ三谷が歌いました。テーブル全員が並列して女性2名も含めて合唱「二人の大阪」を歌ってくれました。最後の「ラストダンス」の一節が印象的でした。楽しい歌声でした。
- 3、4番テーブルのⓁ宮田が登場しました。歌った曲は「見上げてごらん夜の空を」。大きな元気な声で歌うので圧倒されました。相撲で言えば突進する押し相撲で元気いっぱいであり、迫力のある歌であったと思います。歌にⓁ宮田の気持ちが乗り移っていましたが、歌に少し情がほしいなあと思いました。
- 4、5番テーブルⓁ近澤が登場、女性2人と合唱で「銀座の恋のものがたり」を歌いました。合唱は息が合って歌唱力は抜群でした。我がライオンズクラブのカラオケ部のトップ歌手であることは誰もが認めることである。
- 5、6番テーブルのⓁ松田「千の風になって」を心を込めて歌っていただきました。歌唱力は全身で声を出し歌っていたと思いました。Ⓛ松田は本質的に歌の先天的資質、才能があると思いました。生まれてくる時、楽譜を持って生れてきたのでしょうか。
- 6、7番テーブルⓁ近藤「19の春」を歌ってくれました。女性とテーブル全員参加での合唱であり、近藤さんをリーダーに楽しく健やかに歌ってくれました。審査員での審査の時、入賞の声もありました。

以上6名の皆さん歌を愛し一生懸命歌っていることは身を持って感じました。それぞれ個性のある歌声で曲に歌の心が乗り移っており感謝しました。本当に良いカラオケ大会であったと思いました。本当にありがとうございました。

以上、私の感ずるまま書きましたので独断と偏見があるかと思いますが。素人のことゆえ失礼な点多々あることと思いますが御容赦いただきたいと思ひます。

計画委員会が計画したカラオケ大会は本当に楽しいメンバー全員での集大成であり新年例会にふさわしいものであったと感謝しております。

例会終了後、帰宅してカラオケの賞のことについて考えました。最優秀賞Ⓛ近藤、優秀賞Ⓛ古竹とⓁ三谷と発表しましたが、これは執行部全審査員の意見の結果でした。

他の歌手には努力賞をあげましたが、私は次のような賞をさしあげたいと思ひます。

Ⓛ古竹 大衆賞	Ⓛ三谷 テーブル全員による合唱賞	Ⓛ宮田 熱演賞
Ⓛ近澤 銀恋賞	Ⓛ松田 歌唱賞	Ⓛ近藤 情熱賞

たからかにうたい
たたえよライオンズサービス



また会う日まで
かたき握手のうち友情こめて



丸亀京極ライオンズクラブ

◆クラブ紹介

- 結 成 日：昭和51年10月26日
スローガン「数多くの出会いと前進でウイサーブ」
キーワード「友情」
- 役 員 名：会長/永安 勝・幹事/山地 真司・会計/栗林 律子
- スポンサークラブ：丸亀ライオンズクラブ
- 会 員 数：60名（1月末）
- 姉妹提携クラブ：台湾基隆市 基隆長青国際獅子会
- 事務局所在地：〒763-0032 香川県丸亀市城西町2-2-40 橋井ビル302号
TEL (0877) 23-8166
HP : <http://www.niji.jp/home/kyogoku-lc/>
E-mail : kyogoku-lc@niji.or.jp

◆沿革(あゆみ)

丸亀ライオンズクラブ創立20周年記念事業としてエクステンションされ、誕生しました。結成は1976年10月26日、チャーターナイトは翌1977年5月22日、チャーターメンバー47名、1Zでは5番目になります。

創立当初から丸亀ライオンズクラブとの連繋を深め、メイクアップの相互補完のねらいもあって、月2回の例会のうち1回は昼間に開催して現在に至っております。

アクティビティとしては青少年健全育成と環境保全に積極的の取り組み、丸亀城内の『椿の森』の植樹育成、小中学生の柔道剣道大会の開催など、永年にわたり会員全員で取り組み、引き継がれてきました。

2011年10月26日に結成35周年記念式典を終え、40周年に向けて60名の会員が更なる飛躍を目指して活動を続けているところであります。



讃岐太鼓のつどい

◆主な事業

- 讃岐太鼓のつどい ○少年柔道剣道大会
- 出前コンサート ○消防出初め式あめ湯接待
- 桃狩り、芋ほり、餅つき大会 ○献血(年6回)



桃狩り



芋ほり



消防出初め式あめ湯接待



餅つき大会



出前コンサート



献血(年6回)

スムーズな運営のために クラブの会則(標準版)

どのライオンズクラブでも、クラブの会則を持っており、会則がなければ、人事や運営、事業などがスムーズに行われないからです。

会則のこうした効用は、ライオンズに限らずどんな団体でも同じです。つまり、はじめに会則があつて、それから人が集まり団体が結成されると言っても過言ではありません。

ライオンズクラブの会則については、一般の場合と少し違った事情におかれています。クラブはライオンズクラブ国際協会の認証(チャーター)を受けて、はじめてライオンズクラブになるわけです。この認証を受けなければライオンズクラブと名乗ることはできません。この認証を受けるときに、「クラブは国際会則および付則に従い、理事会の全面的な管轄化に置かれる」という約束をしております。そうした前提があるわけです。

ですから、それぞれクラブの会則を作るといっても、どのクラブもみんな同じような会則にならざるを得ないので、クラブ会則(標準版)というのは、そういう事情で作られたものです。

標準版の前文には、「この標準版をそれぞれ公式の会則および付則として採択するよう勧めます」と書かれておりますが、これは以上のような事情があつてのことです。もちろんクラブ会則を標準版ではなく、クラブ独自のものを採用してもいいわけですが、その場合でも認証を受けたときの約束は生きていますので、おのずから制約があると思わねばなりません。

標準版クラブ会則を見ますと、スローガンやモットー、目的、会員などの基本的項目の内容は国際会則とほとんど同じ文章で書かれています。もしクラブで独自の会則を作るとしたら、それ以外のところに余地があると思います。

(ライオンズ文庫『ライオンズスピリット』)

ライオン誌日本語版事務所発行より

歴代会長・終身会員・在籍25年以上の 会員を称える会

第1344回例会 創立記念例会



ひろい世界をひとつに結ぶ 同じ志の手と手に通う



胸に掲げたL字の誇り 高い理想に輝くひとみ



若いみどりを生命の限り 胸にもやしてその火を消すな

『丸亀ライオンズクラブの 歩みを振り返り、考えること』

第36代会長 L鈴木 巖



丸亀ライオンズクラブは、1957年2月23日、チャーターメンバー54名（丸亀・善通寺・多度津・琴平）で、日の出ホテルの2階にて発会式を行いスタートした。その年の10月10日にチャーターナイトを新築された丸亀商業高校の体育館で、全国より300名を集めて興行された。全国で42番目、地区で7番目、香川で2番目と古い伝統あるクラブとして誕生した。

10周年に出版された記念誌には、5周年の式典は、会員のみで内祝で蓬萊荘で行われ、記念バッジを作った程度の式典だったとある。1年目は、8月11日に中津海水浴場で夏の家族会、12月21日に高松クラブとの合同家族会を琴参グリルで、4月10日には桃陵公園で花見例会と3回の家族会を開き、家族を含めた親睦の場を持っている。

その後の会員の増強の様子は次の通りだ。

- 1957年7月～1958年6月 入会12 退会13
- 1958年7月～1959年6月 入会5 退会5
- 1959年7月～1960年6月 入会10 退会5
- 1960年7月～1961年6月 入会15 退会3
- 1961年7月～1962年6月 入会9 退会9
- 1962年7月～1963年6月 入会13 退会14
- 1963年7月～1964年6月 入会18 退会8
- 1964年7月～1965年6月 入会18 退会6
- 1965年7月～1966年6月 入会14 退会5

●1966年6月～1967年7月 入会7 退会4
このように最初の10年間は、退会も多く出たが、それ以上に新会員獲得に各メンバーがライオンズマンの誇りをもって勧誘したことが一目瞭然として解かる。

そして、創立10周年記念大会は、メンバー98名という大勢のメンバーを得て盛大に挙行された。

それ以後、周年毎の記念誌でメンバー数を見ると15周年98名、20周年102名、25周年102名、30周年106名、35周年110名とこの周年でピークとなり、40周年100名、45周年93名、50周年94名、そして、昨年55周年は81名となっており、現在は80名を切るころまで会員数が減っている。丸亀ライオンズクラブは、転換期にきていると感じる。

そこで、考えることは今一度、最初の10周年のメンバーの想いを振り返り、会員強強を執行部にまかすのではなく、メンバー一人ひとりが1年に1人のメンバーを獲得するという意欲を持たなければならない時がきているのではないか。そのための方策もいろいろと思案して、変えるものは変える決断も必要ではないだろうか。

丸亀ライオンズクラブが、メンバーが楽しめる奉仕団体になる努力をメンバー各位が今一度考える時が来ている。

第1342回例会

日時:平成25年1月17日(木)
会場:オークラホテル丸亀

行事 メンバースピーチ L平田 和則
演題 「家畜の改良」(肉質等について)



【会員慶祝】
国際本部より出席
100%アワード
がL内海雅博に贈
られて参りました。
おめでとうございます。

第1341回例会

日時:平成25年1月4日(金)
会場:オークラホテル丸亀

行事 「新年例会」



【会員慶祝】
地区ガバナー 長谷川憲
男様より「マイルスト
ーン・シェブロン」がL内海
雅博、L向谷 寛に贈ら
れて参りました。

第1344回例会

日時:平成25年2月21日(木)
会場:オークラホテル丸亀

行事 メンバースピーチ L鈴木 巖
演題 「丸亀ライオンズクラブの
歩みを振り返り、考えること」



【会員慶祝】
国際本部よりキー賞が
L宮垣雅彦に贈られて参
りました。
おめでとうございます。

第1343回例会

日時:平成25年2月7日(木)
会場:オークラホテル丸亀

行事 メンバースピーチ L三谷 喜朗
演題 「創立55周年大会を振り返って」



【会員慶祝】
L秋山智弘が1963年2
月に入会され、在籍50
年になられました。記念
品をお贈り致します。
地区ガバナー 長谷川憲
男様より「マイルスト
ーン・シェブロン」がL秋山
智弘、L森岡正明に贈ら
れて参りました。

新年例会

日時 平成25年1月4日(金)

場所 オークラホテル丸亀

担当/計画委員会



第1344回 創立記念例会

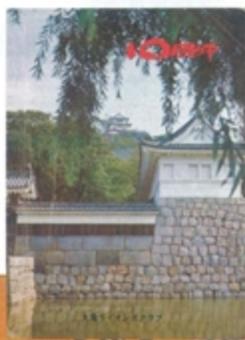
日時 平成25年2月21日(木)

場所 オークラホテル丸亀

担当/ 会員・会則・改革・
EXT・指導力育成・
プロトコール・
大会参加委員会



L 鈴木 巖 メンバースピーチ



ライオンズクラブ国際協会336-A地区5R-1Z

丸亀ライオンズクラブ発行

事務局/〒763-0011 丸亀市富士見町3-3-50 オークラホテル丸亀内
TEL(0877)22-6356

URL / <http://marugame-lions.jp>

E-mail / info@marugame-lions.jp

会長/馬場 史郎 幹事/高橋 昌利 編集発行責任者/植田 敏弘 (PRライオンズ情報IT委員長)